

高齢者を対象とした定期開催の地域スポーツ事業に複数回参加した  
スポーツ経営を専攻する学生の気づき分析  
—大垣市レクリエーション協会主催「健康スポレクひろば」に参加した学生を対象として—

演習Ⅱ：前島詩音・永田太志（経営学部スポーツ経営学科）

1. 調査・研究目的（何を明らかにしようとしたのか）

1) 本研究を実施するに至った背景

2017年以降、この演習では地域実践教育（PBL）の一環としてNPO法人大垣市レクリエーション協会が主催する「健康スポレクひろば」に運営スタッフとして参画している（2020～2021年のコロナ禍は中止、それ以後は万全な感染対策をして実施）。2022年から2024年の本ゼミナール大会では参加者増加策や運営、実施プログラムの開発について報告してきた。

2) 2025年のプログラム運営方法の変更（自由選択活動と文化的活動の追加）

2025年度から「一斉指導方式」の割合を減少させ「自由選択活動」の時間が多くなるプログラムを変更した。その結果、以前より多くの高齢者が継続的に参加するようになった。特に、文化的な活動の将棋やマンカラが人気でそれを目的に参加する高齢者もある。

3) 参加と参画の違い

この事業参加は、単なるボランティア活動としてのお手伝いではなく、担当回のプログラムの企画（指導案作成）や支援（指導）も学生が中心となって担ってきた。したがって、ここでは「参画」とする。

4) 研究目的

本年度は、これまで地域スポーツ事業に参画経験のない学生が携わった。そこで、これらの学生がプログラムへの参画の過程で何に気づき、何を考えたのか調査し、次世代の参画方法に役立つ知見を得ることを目的とした。



2. 調査・研究方法（どのような方法で目的を達成しようとするのか）

1) 調査対象学生

自ら申し出て参画の意思表示をしたスポーツ経営専攻学生であった。第32回が2名、第33回が3名（いずれも女子学生）、第34回が3名であり、のべ8名の学生が事業に参画し、調査対象となった。

2) 調査項目・調査方法・分析方法

事業参画後に口頭によるヒアリング調査と質問紙による自由記述調査で「参画による気づき」を調査した。口頭による回答は文字化し、自由記述で得られたサンプルと合わせて分析した。サンプルを箇条書き状態に分解した後、同じ意味の意見を集め「サブサブカテゴリー」とし、最終的に「カテゴリー」を抽出した。

3) 2025年度の健康スポレクひろば（プログラム内容）

これまで「一斉指導」＝全員で同じ活動をするプログラムが中心であったが、今年度は複数の活動を自由に選択して自由に活動でき、各自のタイミングで活動を始め、各自のタイミングで次の活動に移ることができる時間帯を設けた。主な活動は「卓球」「マグダーツ」「囲碁ボール」「将棋」「マンカラ」などである。「アイスブレイク」や「ラジオ体操」及び「紐体操」はこれまで通りに一斉指導スタイルで実施した。

下の写真：一斉指導スタイルの活動



## 2025年度から導入された「自由選択活動」

マンカラ

マグダーツ

卓球



ラダー



将棋



囲碁ボール



卓上カーリング



受付業務（名前の確認と参加費の受領）やお見送りは実施



ふりかえり

### 3. 調査・研究の結果と考察（何が明らかとなったのか）

#### 1) 地域スポーツ事業（健康スポレクひろば）の開催異議

- ・一人暮らしの高齢者にとっては貴重な時間（孤独の解消・世間、地域の他者・社会との繋がり）の機会・場所
- ・参加者は楽しんでいる（学生も一緒に楽しんだ：学生にとって学びの場になる）
- ・活動は認知症や介護予防になる（人との交流が刺激・活動が筋肉への刺激）

#### 2) 学生自身にとっての成長・成果（参加のメリット）

- ・参加前は受け入れられるか不安であったが高齢者の笑顔に救われた（参加することで多世代交流ができた）
- ・指導、支援法：支援（指導）場面では、ゆっくり話すと伝わる（ラダーの難しいステップでも説明をゆっくり繰り返し、デモンストレーションもゆっくり動作をすると意外とできる）
- ・参加前はどのような人が来るのか不安であったが、こちらが多くを教えられた（優しい）マンカラの場面
- ・専門知識の獲得：対象者理解（専門知識）高齢者の身体機能は学生とは違う（学生に合わせて動くことは難しい）
- ・今回のボランティア参加は新しい発見があった
- ・指導や支援してみてシニアに通じる言葉選びが重要と気づいた
- ・参加者とのコミュニケーションでは名前を呼ぶと活性化する
- ・学生自身も一緒に活動を楽しむことが雰囲気づくりになる
- ・協会スタッフは配慮が細かい
- ・学生自身もやったことがない活動（レクスポーツ）ができた・知ることができた
- ・雰囲気づくりには導入の盛り上げ方が重要だと教わった

調査協力：大橋沙代さん、小原恵さん、山口真歩さん



定期開催の地域スポーツ事業「健康スポレクひろば」